

戸山

新宿区立 戸山小学校

SOSを気付ける大人に

副校長 福井 みどり

先日の生活指導全体会で「SOSの出し方に関する教育」の研修会を行いました。

「SOSの出し方に関する教育」とは、「子どもが、現在起きている危機的状況、または今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」であり、また「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的とした教育です。

（因みに、この学習は6年間の中で1単位時間以上行うことになっていて、本校では6年生で行っています。）

この学習は、東京都教育委員会から配られた「自分を大切にしよう～不安やなやみへの対応～」のDVDを見て学習しています。この中で、こんな言葉が出てきます。「生まれたばかりの赤ちゃんは、どんな時も泣いて周りの人に助けを求めています。お腹が空いたよ、オムツが濡れたよと。みんな赤ちゃんのころはSOSが出せました。」そこから自分自身を振り返るようにお話が進みます。不安や悩みを抱えている高学年は71.6%というデータがあることや、不安や悩みがあるときの心の状態を伝えていきます。そして、このDVDの最後に、不安や悩みがあるときのSOSの出し方について「少なくとも3人の信頼できる大人に相談してみましよう。」と子ども達に語りかけています。

私たち大人は、不安や悩みがある子ども達のSOSに気付くことができるでしょうか。もしかしたら「今は忙しいから後にして!」とか、「そんなくだらないことで悩んでないで勉強しなさい!」とか「気のせいよ。気にしないことが一番!」なんて言ってしまいそうな自分があります。しかし、子どもはSOSを出しているのです。

もし、そんなSOSを感じたら、まずは傾聴（心を傾けて聞く）しましょう。「○○って思っているのね。」とそのままの言葉を返してあげることが大切です。子ども達は「ああ、分かってもらえた。」「この人なら、信じてお話しできる。」と感じることでしょう。

私自身、教師として、母として、一人の大人として、子ども達のSOSに気付くことができる大人でありたいと思います。

《体罰等の実態把握について》

新宿区では、子ども同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会として6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、人権教育や心の教育等を推進する取組みを実施するとともに、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動及び教員の指導の状況について、現状や取組みの効果等を把握するための調査を行っています。

具体的には、各学級で「自分のこと」「友達のこと」「先生のこと」についてアンケート調査を実施しています。東京都では、体罰の根絶に向けた取組みの一環として、12月に都内公立学校を対象に、体罰の実態把握に関する調査を実施することになりましたが、新宿区では、11月のふれあい月間の調査から引き続き実態把握に努めています。心配なことがありましたら、学校にご相談ください。

新たに、児童及び保護者のみなさまからご相談いただいた内容については、学校として責任をもって確認し、速やかに対応してまいります。

保護者のみなさまには、学校の取組みにご理解いただきますようお願いいたします。

学年の窓 5年

最高学年「ただいま準備中」

12月を迎え、来年のことが子ども達の話題に少しずつ上るようになりました。5年生は、今、少しずつ6年生の仕事を引き継いでいるところです。

10月に6年生が日光移動教室に行った際は、5年2組が校旗の上げ下ろしを代わりに行いました。学校に関わる大事な仕事を、毎日6年生が担当していたことを、このとき初めて知った子もいました。

11月のふれあい班活動の長なわとび練習では、低学年に入るタイミングを教えたり、背中を押したりする姿が見られました。

就学時健診では、新1年生を連れて校内の健診会場を回りました。「こんにちは。お名前を教えてください。」と、膝を曲げて未就学児の目線に合わせて挨拶をしました。会場のあちこちで、一緒に並んで座ったり、優しく寄り添って読み聞かせをしたりしながら順番を待つ姿が見られました。相手への思いやりある行動ができるのは5年生の長所です。

戸山小では、6年生が代々学校行事を支えてきました。完全にバトンタッチできるには、もう少し時間が必要ですが、来年度、最高学年として学校を支え、よき伝統を受け継いで伝えていけるよう、これからも5年生は一步一步成長していきます。

展覧会のご案内

1月25日（金）、26日（土）の2日間、本校体育館にて展覧会を開催いたします。

オリンピックを2年後に控え、戸山小学校の展覧会作品も、ドイツ発祥のシュタイナー教育で用いられていた“糸かけ曼荼羅”や、発祥は中国ですが日本で発展した“水引き”、平安時代から伝わる”貝合わせ”など、様々な国の文化を取り入れたものがあります。

展覧会に向けて、子どもたちは1学期から一所懸命に制作してきました。子どもたちの努力の成果を是非、ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご覧になっていただければと思います。

当日は体育館へ入るための上履きのご持参をお願いいたします。自転車はロッテ門内に駐輪することが出来ますので、駐輪スペースへ止めてくださいますようお願いいたします。